

サンタの街にぎわう

広尾点灯式に合わせ催し



並木町内会が設置したイルミネーション

【広尾】ひろおサンタランドツリー点灯式(22日)に合わせて、町内ではサンタのマチを盛り上げるさまざまなイベントや仕掛けが繰り広げられた。(伊藤亮太)

鉄塔をツリーにイルミネーション

並木町内会

○：並木町内会(寺山勝雄会長)は23日、町並木通西2の町有地にイルミネーションを設置し、点灯式を

行った。

町のサンタランド事業を盛り上げようと毎年行っており、30年以上続いている。今年もサンタクロースやトナカイ、18層の鉄塔をツリーのように飾り付けたイルミネーションを設置した。

サンタ仮装で 思い出づくり

チャリティー
パレード

○：サンタクロースの仮

装をしてマチを歩くイベントを通じ、子どもたちにプレゼントを贈る「チャリティーサンタパレードin広尾サンタランド2016」(実行委主催)が22日、行



われた。点灯式に合わせて実施し、参加費を町内の子どもたちや闘病中の子どもたちに贈るプレゼント購入費用に充てるイベント。町のサンタランド認

定30周年を記念して2014年に始まり、今年で3回目となる。この日は20人が参加した。サンタクロースやトナカイの格好をして、十勝神社から点灯式会場の大丸山森林公園までを歩いた。豊似中学校の仲良しグループで参加した尾崎楓蓮さん(13)、五十嵐美雪さん(12)、今井友希さん(13)、田辺優里さん(12)は「今年度で豊似中が閉校になるので思い出づくりで参加した。サンタの格好で歩くのは恥ずかしいけど楽しい」と話していた。

○：点灯式の会場では、

子どもたちが 仕事を体験

だがしや楽校

この日は午後5時に点灯式を行い、集まった会員約30人でカウントダウン。オレンジや青、白の1000球以上が一斉に輝いた。寺山会長(72)は「たくさんの人に見てもらいたい」と話していた。イルミネーションは12月25日まで、午後5時〜同9時点灯している。



子どもたちが仕事体験を通して社会の仕組みを学ぶ「だがしや楽校」が行われた。

仕事をし稼いだピースで菓子をもらう子どもたち

小学生が仕事を体験し、報酬として得た仮想通貨「ピース」で菓子をもらう。NPO教育支援協会北海道(本部帯広、安江こずゑ代表理事)の事業で、帯広や札幌、千歳などで行ってきた。十勝管内の町村では初めての実施となる。

この日は南十勝4町村の小学生約100人が参加。点灯式会場の出店で客を呼び込んだりイベントの進行などを手伝ったりした。ピースを得た子どもたちは早速、菓子や古本を購入していた。肉まん販売の会計を手伝った広尾小3年の野村なぎささん(8)は「会計作業は難しくなかった。働くのは楽しかった」と話していた。